

第1回 道内大学生による「ものづくり製品化&起業化支援事業」

< 目 的 >

地元経済団体の会員企業・金融機関等が、道内大学生考案のビジネスアイデアの実現を支援することで、理系・技術系大学生の本道定着とものづくり産業の振興、加えて、北海道経済の活性化に寄与することを目的として実施する。

< 概 要 >

北海道内の大学で学ぶ学生（複数人数によるグループ）が考案した“ものづくり分野”における「製品化アイデア」「起業アイデア」を、主催団体の会員企業・金融機関等が実現に向けて支援する事業。

学生グループは、企業・金融機関等が多数参加する中で、自ら考案したアイデアのプレゼンテーションを行う。

企業・金融機関等は、実現性や社会的需要が高いと見込まれるアイデアを発表した学生グループに対し、支援に向けた面談を申し込む。

学生グループは、面談を申し込んだ企業・金融機関等と面談するか否かを判断し、了承の場合、主催事務局が面談を設定する。

支援交渉の公平性を期すため、主催事務局は交渉状況・結果を把握する。

“ものづくり分野”の例： 製品開発、技術開発、素材開発、システム開発 など

※「健康・医療」、「保健機能食品」を含みます

※「一般食品」、「建築・土木」は対象外

学生グループの研究例： 応用物理、物理化学、生化学、量子力学、材料科学、航空宇宙工学、機械工学、人間工学、電気工学、電子工学、通信工学、情報工学、農学、生物工学、環境科学、エネルギー環境システム、食品加工技術（システム）、食品流通技術（システム）等

企業支援の例： ①プランの購入 → 企業が実現
②学生グループを採用 → 企業が実現
③工場・機器の使用許可、材料提供 → 学生が実現
④資金提供 → 学生が実現
⑤その他

金融機関支援の例： ⑥学生プランを実現する企業への資金支援 → 企業が実現
⑦創業資金支援 → 学生が実現
⑧創業資金支援 + 経営人材派遣等の人材支援 → 学生が実現
⑨その他

道内大学生による「ものづくり製品化&起業化支援事業」

<事業の構図>

